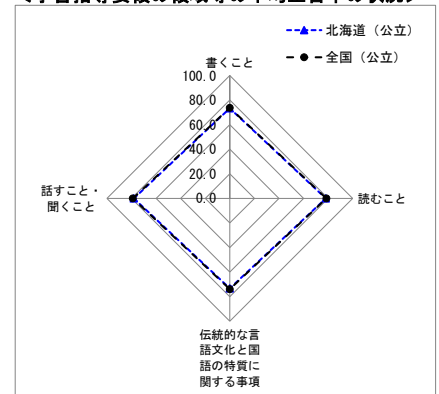


# 設問別調査結果 [中学校・国語A：主として知識]

## 集計結果

対象学校数	北海道（公立）	全国（公立）	対象生徒数	北海道（公立）	全国（公立）
	607	9,464		41,221	996,188
分類	区分		対象設問数（問）	平均正答率（%）	
	全体			北海道（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと		6	78.1	78.9
	書くこと		4	73.3	73.7
	読むこと		6	78.1	78.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		17	73.3	73.9
評価の観点	国語への関心・意欲・態度		0		
	話す・聞く能力		6	78.1	78.9
	書く能力		4	73.3	73.7
	読む能力		6	78.1	78.6
	言語についての知識・理解・技能		17	73.3	73.9
問題形式	選択式		23	73.2	73.5
	短答式		10	79.3	80.5
	記述式		0		

## <学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



## 設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率（%）		無解答率（%）		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	北海道（公立）	全国（公立）	北海道（公立）	全国（公立）
1-1	聞き手をどのように想定して話しているのかを説明したものとして適切なものを選択する	聞き手の立場を想定し、話の中心的部分と付加的な部分との関係に注意して話す	2 イ												78.5	80.7	0.1	0.1
1-2	絵本のページを提示した意図として適切なものを選択する	目的に応じて資料を効果的に活用して話す	2 ウ												77.6	78.1	0.2	0.2
2-1	パンフレットの見出しを他の見出しの書き方を参考にして書く	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く		2 ウ								○			77.3	78.1	3.5	3.5
2-2	文章の一部を別の項目に移す理由として適切なものを選択する	集めた材料を整理して文章を構成する		1 イ								○			73.8	73.2	0.2	0.3
3-1	「ライスカラーの名に値する」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1 ア							○			83.7	84.7	0.2	0.2
3-2	「私」にととのライスカラーを説明したものとして適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する			2 イ							○			89.1	90.0	0.2	0.2
4-1	答えの文章を直した意図として適切なものを選択する	文章を読み返し、文の使い方などに注意して書く		2 エ								○			65.0	64.7	0.4	0.6
4-2	質問に対する答えが明確になるように適切な言葉を書く	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く		1 ウ								○			77.2	78.7	9.5	8.7
5-1	電話を受けた相手のことを考えた言葉を書く	相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話す	1 ウ									○			92.8	93.1	4.2	3.7
5-2	伝えたいことを明確にするために付け加える言葉として適切なものを選択する	全体と部分との関係に注意して話を構成する	1 イ									○			87.5	88.7	0.2	0.3
6-1	「不思議な機能」の説明として適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える			1 イ							○			80.5	81.3	0.3	0.4
6-2	文章について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開について自分の考えをもつ			1 エ							○			65.7	67.3	0.4	0.6
7-1	相手の発言をどのように聞いているのかを説明したものとして適切なものを選択する	話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する	2 エ									○			71.5	70.6	0.4	0.5
7-2	話し合いを踏まえた発言として適切なものを選択する	互いの発言を検討して自分の考えを広げる	2 オ									○			60.9	62.0	0.5	0.6
8-1	奥付の特徴を説明したものとして適切なものを選択する	奥付の特徴や役割を理解する			1 カ							○			86.0	86.1	1.1	1.3
8-2	資料集を活用するときの留意点を説明したものとして適切なものを選択する	奥付を使って本についての情報を得る			1 カ							○			63.5	62.4	1.4	1.6

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	北海道(公立)	全国(公立)	北海道(公立)	全国(公立)
9-1	漢字を書く(大学で歴史のケンキュウをすすめる)	文脈に即して漢字を正しく書く				2(1)ウ(イ)						○	○		82.8	83.5	6.4	5.8
9-2	漢字を書く(今までにないドクソウ的な考えだ)					2(1)ウ(イ)						○	○		25.2	26.1	10.8	11.4
9-3	漢字を書く(家の庭に花をうえる)					2(1)ウ(イ)						○	○		87.9	89.9	6.4	5.2
9二1	漢字を読む(封筒を開ける)	文脈に即して漢字を正しく読む				2(1)ウ(ア)						○	○		97.9	97.6	1.1	1.3
9二2	漢字を読む(長年の努力が報われた)					2(1)ウ(ア)						○	○		94.7	94.8	1.9	2.0
9二3	漢字を読む(目上の人を敬う)					2(1)ウ(ア)						○	○		79.6	82.6	5.5	4.8
9三ア	適切な語句を選択する(彼は、忙しい仕事の合間を縫って、私に会いに来てくれた)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				1(1)イ(ウ)						○	○		91.2	91.0	0.5	0.6
9三イ	適切な語句を選択する(厳しい挑戦だということは、もちろん分かっています)					1(1)イ(ウ)						○	○		97.9	97.9	0.5	0.5
9三ウ	適切な語句を選択する(弟子を手塩にかけて育てる)					1(1)イ(ウ)						○	○		58.3	59.3	1.0	1.1
9三エ	適切な敬語を選択する(私がプリントを集めて、先生にお届けします)					2(1)イ(ア)						○	○		93.6	94.3	0.6	0.6
9三オ	適切な語句を選択する(会長候補として、白羽の矢が立つ)					1(1)イ(ウ)						○	○		53.9	54.0	0.7	0.8
9四ア	漢和辞典の「意味」の中から、「賛美」の「美」の意味として適切なものを選択する	辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える				1(1)イ(イ)						○	○		62.7	60.3	1.0	1.0
9四イ	漢和辞典の「意味」の中から、「優美」の「美」の意味として適切なものを選択する					1(1)イ(イ)						○	○		64.2	62.8	1.1	1.0
9五	文章を書き直した意図として適切なものを選択する	文の成分の照応について理解する				2(1)イ(ウ)						○	○		49.8	50.8	1.3	1.3
9六	題名の下書きをどのように書き直したのかを説明したものとして適切なものを選択する	文字の形や大きさ、配列に注意して書く				1(2)ア						○	○		34.8	36.4	1.3	1.2
9七1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(追ひし)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む				1(1)ア(ア)						○	○		77.5	80.2	5.0	4.4
9七2	「忘れがたき」の意味として適切なものを選択する	歌に表れた作者の思いを想像する				2(1)ア(イ)						○	○		94.3	94.9	1.9	1.7

※塗りつぶしは、全国以上の平均正答率及び全国以下の無解答率。太枠は5%以上の無解答率。

	H26	H27	H28
平均正答率が全国以上の設問数	17/32問	16/33問	9/33問
無解答率が全国以下の設問数	28/32問	30/33問	24/33問
無解答率が5%以上の設問数	8/32問	5/33問	6/33問

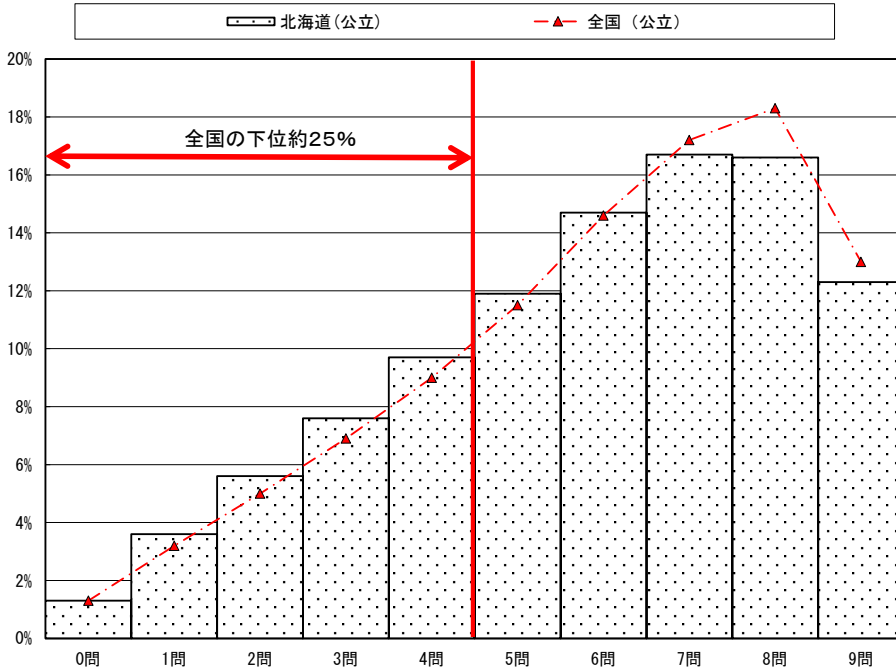
# ■ 中学校国語B

## 【概要】

- 平均正答率は、65.0%
- 全国の平均正答率との差は、-0.1ポイント（平成27年度）から-1.5ポイントに広がった
- 〔参考〕平成25年度小学校国語Bの全国の平均正答率との差は、-3.0ポイント

	生徒数（人）	平均正答数（問）	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
北海道（公立）	41,231	5.8 / 9	65.0	6.0	2.3
全国（公立）	996,365	6.0 / 9	66.5	6.0	2.3

正答数（正答率）	北海道	全国
0問（0.0%）	1.3	1.3
1問（11.1%）	3.6	3.2
2問（22.2%）	5.6	5.0
3問（33.3%）	7.6	6.9
4問（44.4%）	9.7	9.0
5問（55.6%）	11.9	11.5
6問（66.7%）	14.7	14.6
7問（77.8%）	16.7	17.2
8問（88.9%）	16.6	18.3
9問（100.0%）	12.3	13.0



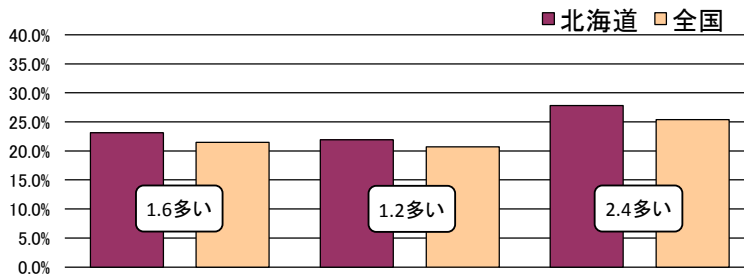
4問以下の割合	27.8	25.4
---------	------	------

※ 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる全道の児童生徒の割合を比較した。

● 全国の下位約25%は、4問以下の正答数（正答率は44.4%以下）。

※ 児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

## 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



	H26		H27		H28	
	全道	全国	全道	全国	全道	全国
割合	23.1%	21.5%	21.9%	20.7%	27.8%	25.4%
正答数	9問中 2問以下		9問中 4問以下		9問中 4問以下	
全国との差	1.6 多い		1.2 多い		2.4 多い	

- 0.4

+ 1.2

〔参考〕

平成25年度小学校国語B

全道 全国

23.6% 20.1%

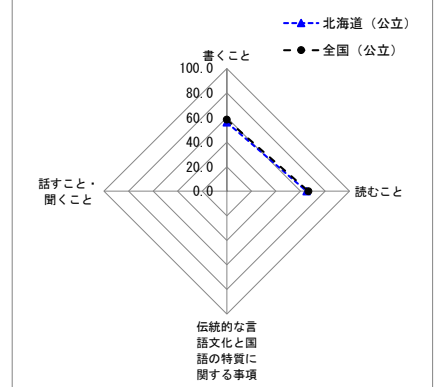
全国との差 3.5多い

# 設問別調査結果 [中学校・国語B：主として活用]

## 集計結果

対象学校数		北海道（公立）	全国（公立）	対象生徒数		北海道（公立）	全国（公立）
		607	9,464			41,231	996,365
分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（%）				
			北海道（公立）	全国（公立）			
全体		9	65.0	66.5			
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0					
	書くこと	3	56.1	58.3			
	読むこと	9	65.0	66.5			
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0					
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	56.1	58.3			
	話す・聞く能力	0					
	書く能力	3	56.1	58.3			
	読む能力	9	65.0	66.5			
	言語についての知識・理解・技能	0					
問題形式	選択式	5	69.3	70.6			
	短答式	1	69.8	71.1			
	記述式	3	56.1	58.3			

## <学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



## 設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率（%）		無解答率（%）		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	北海道（公立）	全国（公立）	北海道（公立）	全国（公立）
1一	ちらしの表と裏から分かる「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるねらいとして適切なものを選択する	文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、要旨を捉える			1イ										75.4	76.2	0.1	0.2
1二	関連イベントの「～職人の技を見てみよう～」に参加することができる日付として適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る			1カ										82.3	83.3	0.1	0.2
1三	ちらしの表と裏の表現の工夫とその効果を書く	文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く		2ウ	2ウ		○	○	○			○			65.7	68.0	10.4	7.8
2一	雑誌の記事の説明として適切なものを選択する	文章の構成を捉える			1エ										64.3	64.9	0.2	0.2
2二	情報カードにまとめる内容として適切なものを選択する	目的に応じて文章を要約する			1イ										62.4	64.0	0.2	0.3
2三	宇宙エレベーターについて疑問に思ったこと、それを調べるために必要な本の探し方を書く	課題を決め、それにじた情報の収集方法を考える		1ア	1カ		○	○	○			○			50.1	49.2	7.3	6.0
3一	物語の展開に沿って日之助の様子を並べ替える	文章の展開に即して内容を理解する			1ウ							○			69.8	71.1	1.2	1.2
3二	物語に書かれている事柄について図鑑の説明から分かることとして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る			1カ							○			62.1	64.7	0.6	0.8
3三	図鑑の説明を読むことで、よく分かるようになった物語の部分と、その部分についてどのようなことが分かったのかを書く	本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く		1ウ	1カ		○	○	○			○			52.5	57.7	28.5	22.8

※塗りつぶしは、全国以上の平均正答率及び全国以下の無解答率。太枠は5%以上の無解答率。

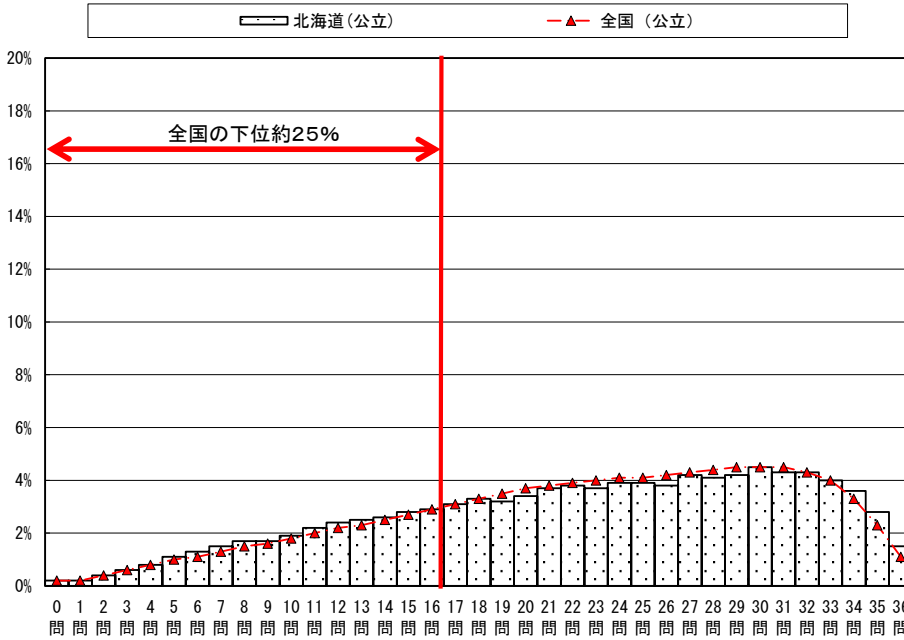
	H26	H27	H28
平均正答率が全国以上の設問数	2/9問	4/9問	1/9問
無解答率が全国以下の設問数	6/9問	6/9問	6/9問
無解答率が5%以上の設問数	2/9問	2/9問	3/9問

# ■ 中学校数学A

## 【概要】

- 平均正答率は、61.8%
- 全国の平均正答率との差は、-1.4ポイント（平成27年度）から-0.4ポイントに縮まった  
〔参考〕平成25年度小学校算数Aの全国の平均正答率との差は、-2.3ポイント

	生徒数(人)	平均正答数(問)	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
北海道(公立)	41,236	22.2 / 36	61.8	23.0	8.6
全国(公立)	996,502	22.4 / 36	62.2	23.0	8.3

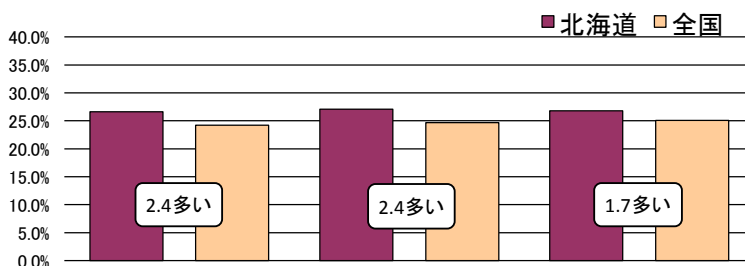


● 全国の下位約25%は、16問以下の正答数（正答率は44.4%以下）。

正答数 (生徒の割合(%))		
正答数(正答率)	北海道	全国
0問(0.0%)	0.2	0.2
1問(2.8%)	0.2	0.2
2問(5.6%)	0.4	0.4
3問(8.3%)	0.6	0.6
4問(11.1%)	0.8	0.8
5問(13.9%)	1.1	1.0
6問(16.7%)	1.3	1.1
7問(19.4%)	1.5	1.3
8問(22.2%)	1.7	1.5
9問(25.0%)	1.7	1.6
10問(27.8%)	1.9	1.8
11問(30.6%)	2.2	2.0
12問(33.3%)	2.4	2.2
13問(36.1%)	2.5	2.3
14問(38.9%)	2.6	2.5
15問(41.7%)	2.8	2.7
16問(44.4%)	2.9	2.9
17問(47.2%)	3.1	3.1
18問(50.0%)	3.3	3.3
19問(52.8%)	3.2	3.5
20問(55.6%)	3.4	3.7
21問(58.3%)	3.7	3.8
22問(61.1%)	3.8	3.9
23問(63.9%)	3.7	4.0
24問(66.7%)	3.9	4.1
25問(69.4%)	3.9	4.1
26問(72.2%)	3.8	4.2
27問(75.0%)	4.2	4.3
28問(77.8%)	4.1	4.4
29問(80.6%)	4.2	4.5
30問(83.3%)	4.5	4.5
31問(86.1%)	4.3	4.5
32問(88.9%)	4.3	4.3
33問(91.7%)	4.0	4.0
34問(94.4%)	3.6	3.3
35問(97.2%)	2.8	2.3
36問(100.0%)	1.5	1.1

16問以下の割合	26.8	25.1
----------	------	------

## 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



※全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる全道の児童生徒の割合を比較した。

※児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

	H26		H27		H28	
	全道	全国	全道	全国	全道	全国
割合	26.6%	24.2%	27.1%	24.7%	26.8%	25.1%
正答数	36問中 18問以下		36問中 17問以下		36問中 16問以下	
全国との差	2.4 多い		2.4 多い		1.7 多い	

同じ

-0.7

### 〔参考〕

平成25年度小学校算数A

全道	全国
28.1%	23.7%
全国との差	4.4多い

# 設問別調査結果 [中学校・数学A：主として知識]

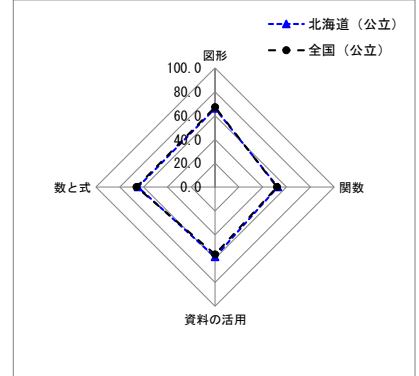
## 集計結果

対象学校数	北海道（公立）	全国（公立）	対象生徒数	北海道（公立）	全国（公立）
	606	9,461		41,236	996,502

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（%）		
			北海道（公立）	全国（公立）	
全体			36	61.8	62.2
学習指導要領の領域	数と式	12	64.7	65.9	
	図形	12	66.0	67.1	
	関数	8	52.7	52.0	
	資料の活用	4	58.7	56.5	
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	19	66.0	66.9	
	数量や図形などについての知識・理解	17	57.1	56.8	
問題形式	選択式	13	58.6	57.8	
	短答式	23	63.6	64.6	
	記述式	0			

## <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



## 設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率（%）		無解答率（%）			
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	北海道（公立）	全国（公立）	北海道（公立）	全国（公立）		
1 (1)	$\frac{2}{5} \times 0.6$ を計算する	分数と小数の乗法の計算ができる	小6 (1) イ						○*				○			62.8	66.9	5.6	5.0
1 (2)	-5, 0, 1, 2, 5, 4の中から自然数を全て選ぶ	自然数の意味を理解している	1 (1) ア						○	○						40.1	40.6	0.2	0.2
1 (3)	$-3 + (-7)$ を計算する	正の数と負の数の加法の計算ができる	1 (1) ウ						○				○			90.3	91.6	0.8	0.7
1 (4)	今日の水位が1週間前の水位からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ	ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解している	1 (1) ア, エ						○	○						68.9	69.0	0.3	0.3
2 (1)	ある数を3でわると、商がaで余りが2になるとき、ある数をaを用いた式で表す	数量の関係を文字式に表すことができる	1 (2) エ						○				○			30.0	32.2	14.2	12.5
2 (2)	$(2x + 5y) + 3(x - 2y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	2 (1) ア						○				○			83.5	84.0	2.6	2.5
2 (3)	ある数aについて、不等式 $a > 5$ と表せる事柄を選ぶ	不等式の意味を読み取ることができる	1 (2) エ						○				○			76.8	78.2	0.3	0.3
2 (4)	等式 $S = ah$ をhについて解く	具体的な場面で数量の関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形できる	2 (1) ウ						○				○			64.3	67.9	10.2	8.2
3 (1)	一元一次方程式 $x + 12 = -2x$ を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる	1 (3) ウ						○				○			70.9	71.3	6.1	5.1
3 (2)	一元一次方程式 $2x = x + 3$ の解について、正しい記述を選ぶ	一元一次方程式の解の意味を理解している	1 (3) ア						○	○						46.2	47.2	0.6	0.5
3 (3)	縦と横の長さの比が5:8の長方形の看板について、縦の長さが4.5cmのときの横の長さx cmを決めるための比例式をつくる	具体的な場面における数量の関係を捉え、比例式をつくることができる	1 (3) ウ						○				○			54.1	52.3	17.9	15.4
3 (4)	方程式 $2x + y = x - y = 3$ から、xとyの値を求めるための連立方程式を完成させる	2つの等号で結ばれている方程式が表す関係を読み取り、2つの二元一次方程式で表すことができる	2 (2) イ, ウ						○				○			88.3	89.7	6.2	5.4
4 (1)	与えられた方法で作図された直線についていえることを選ぶ	垂線の作図の方法について理解している	1 (1) ア						○	○						34.7	30.9	0.8	0.8
4 (2)	△ABCを、直線lを軸として対称移動した図形をかき	対称移動した図形をかきことができる	1 (1) イ						○				○			72.6	71.8	2.1	2.0
5 (1)	三角柱において、与えられた辺とねじれの位置にある辺を書く	空間における直線と直線との位置関係(辺と辺がねじれの位置にあること)を理解している	1 (2) ア						○				○			68.5	75.5	3.3	2.6
5 (2)	四角形をその面に垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体の名称を書く	四角形をその面に垂直な方向に平行に動かすと、四角柱が構成されることを理解している	1 (2) イ						○				○			71.8	74.0	6.5	5.6
5 (3)	立方体の見取図を読み取り、2つの角の大きさの関係について、正しい記述を選ぶ	見取図に表された立方体の角の大きさの関係を読み取ることができる	1 (2) イ						○				○			77.0	78.8	0.6	0.6
5 (4)	円柱の体積が600cm <sup>3</sup> のとき、その円柱と底面の円が合同で高さが等しい円錐の体積を求める	円錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい円柱の体積の1/3であることを理解している	1 (2) ウ						○				○			45.3	49.9	16.3	14.2
6 (1)	平行線や角の性質を用いて∠APBの大きさを求める	平行線や角の性質を用いて、角の大きさを求めることができる	2 (1) ア						○				○			74.9	74.8	4.8	4.5
6 (2)	多角形の外角の和について、正しい記述を選ぶ	多角形の外角の和の性質を理解している	2 (1) イ						○	○						70.6	69.3	0.7	0.8

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	北海道(公立)	全国(公立)	北海道(公立)	全国(公立)
7(1)	$\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であるための条件として、正しいものを選ぶ	三角形の合同条件を理解している		2(2) ア					○	○		69.9	70.8	0.7	0.8		
7(2)	ひし形の対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表す	ひし形について対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表すことができる		2(2) イ、ウ				○		○		73.7	74.7	12.5	11.4		
7(3)	図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する	命題の逆を理解している		2(2) イ				○		○		72.0	72.3	8.5	7.7		
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについて、正しい記述を選ぶ	証明の必要性と意味を理解している		2(2) イ、ウ				○	○			60.8	61.9	1.2	1.2		
9(1)	比例の表を完成させる	比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、 $x$ の値に対応する $y$ の値を求めることができる		1(1) エ				○		○		87.3	87.9	3.5	3.2		
9(2)	比例 $y=2x$ について、 $x$ の値が1から4まで増加したときの $y$ の増加量を求める	比例の式について、 $x$ の値の増加に伴う $y$ の増加量を求めることができる		1(1) エ				○		○		45.2	39.4	12.9	12.1		
9(3)	反比例を表した事象を選ぶ	具体的な事象における2つの数量の関係が、反比例の関係になることを理解している		1(1) イ				○	○			39.9	42.0	1.4	1.3		
9(4)	反比例のグラフから式を求める	反比例のグラフ上の点の座標から、 $x$ と $y$ の関係を式で表すことができる		1(1) エ				○		○		33.2	34.5	17.0	14.8		
10(1)	一次関数の表からグラフを選ぶ	一次関数のグラフの特徴について、表と関連付けて理解している		2(1) イ				○	○			61.9	61.9	1.6	1.6		
10(2)	一次関数の式から変化の割合を求める	一次関数 $y=ax+b$ について、変化の割合が一定で $a$ の値に等しいことを理解している		2(1) イ				○		○		60.3	54.6	19.2	22.3		
10(3)	一次関数のグラフから、 $x$ の変域に対応する $y$ の変域を求める	一次関数のグラフから、 $x$ の変域に対応する $y$ の変域を求めることができる		2(1) イ				○		○		43.9	43.0	20.8	18.9		
11	一次関数の事象を式で表す	具体的な事象における一次関数の関係を式に表すことができる		2(1) ア				○		○		50.2	53.0	16.8	14.1		
12(1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる		1(1) ア				○		○		44.3	45.5	19.2	17.4		
12(2)	ある郵便物の重さについて、デジタルはかりで表示された値を基に、真の値の範囲を選ぶ	測定値が与えられた場面において、近似値と誤差の意味を理解している		1(1) イ				○	○			48.0	34.7	2.6	2.5		
13(1)	1枚の硬貨を投げたときの確率について、正しい記述を選ぶ	「同様に確からしい」ことの意味や、前の試行が次の試行に影響しないことを理解している		2(1) ア				○	○			66.8	66.0	2.0	1.9		
13(2)	1から13までの数字が書かれた13枚のカードから5枚または11枚のカードをひく確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができる		2(1) ア				○		○		75.6	79.6	10.1	8.5		

\* 評価の観点は、数量や図形についての技能(小学校)に対応させている。

※塗りつぶしは、全国以上の平均正答率及び全国以下の無解答率。太枠は5%以上の無解答率。

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
平均正答率が全国以上の設問数	6/36問	5/36問	11/36問
無解答率が全国以下の設問数	20/36問	7/36問	10/36問
無解答率が5%以上の設問数	11/36問	12/36問	17/36問

# ■ 中学校数学B

## 【概要】

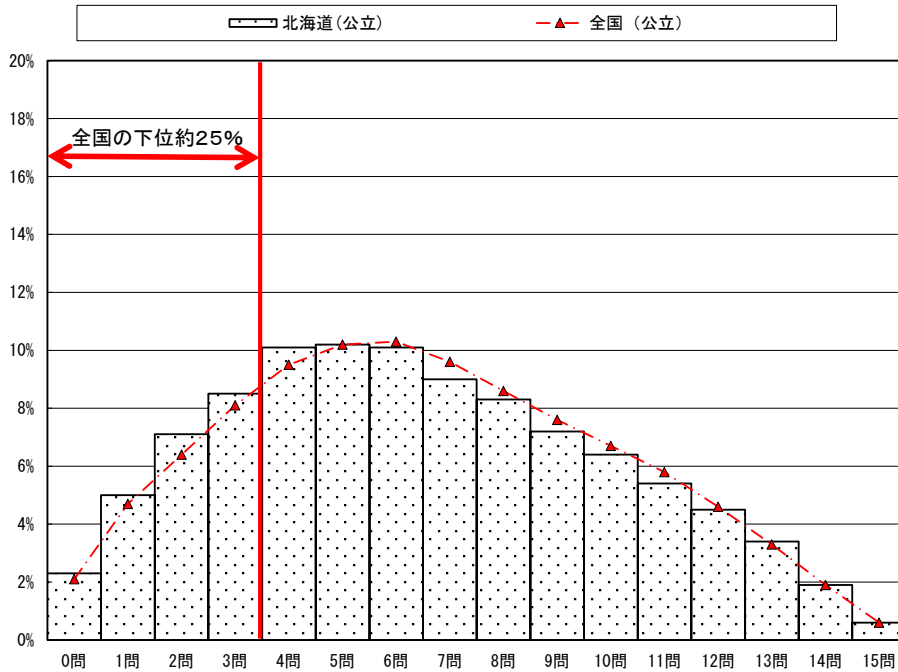
- 平均正答率は、43.3%
- 全国の平均正答率との差は、-1.9ポイント（平成27年度）から-0.8ポイントに縮まった  
〔参考〕平成25年度小学校算数Bの全国の平均正答率との差は、-4.4ポイント

	生徒数(人)	平均正答数(問)	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
北海道(公立)	41,233	6.5 / 15	43.3	6.0	3.6
全国(公立)	996,578	6.6 / 15	44.1	6.0	3.5

正答数(正答率)	北海道	全国
0問(0.0%)	2.3	2.1
1問(6.7%)	5.0	4.7
2問(13.3%)	7.1	6.4
3問(20.0%)	8.5	8.1
4問(26.7%)	10.1	9.5
5問(33.3%)	10.2	10.2
6問(40.0%)	10.1	10.3
7問(46.7%)	9.0	9.6
8問(53.3%)	8.3	8.6
9問(60.0%)	7.2	7.6
10問(66.7%)	6.4	6.7
11問(73.3%)	5.4	5.8
12問(80.0%)	4.5	4.6
13問(86.7%)	3.4	3.3
14問(93.3%)	1.9	1.9
15問(100.0%)	0.6	0.6

3問以下の割合	22.9	21.3
---------	------	------

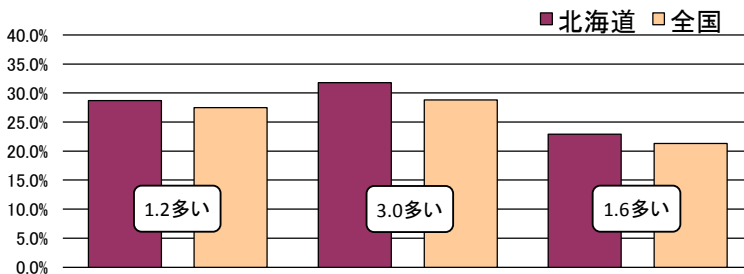
※ 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる全道の児童生徒の割合を比較した。



● 全国の下位約25%は、3問以下の正答数（正答率は20%以下）。

※ 児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

## 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



	H26		H27		H28	
	全道	全国	全道	全国	全道	全国
割合	28.7%	27.5%	31.8%	28.8%	22.9%	21.3%
正答数	15問中 6問以下		15問中 3問以下		15問中 3問以下	
全国との差	1.2 多い		3.0 多い		1.6 多い	

+1.8

-1.4

## 〔参考〕

平成25年度小学校算数B

全道 全国

33.4% 27.4%

全国との差 6.0多い

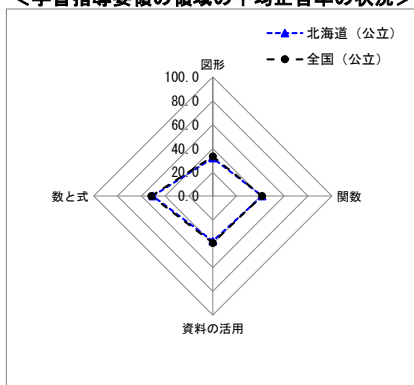


# 設問別調査結果 [中学校・数学B：主として活用]

## 集計結果

対象学校数	北海道（公立） 606	全国（公立） 9,460	対象生徒数	北海道（公立） 41,233	全国（公立） 996,578
分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（%）		
			北海道（公立）	全国（公立）	
全体		15	43.3	44.1	
学習指導要領の領域	数と式	6	50.3	51.5	
	図形	2	31.9	33.3	
	関数	5	41.5	41.4	
	資料の活用	2	37.8	39.3	
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	11	37.8	38.9	
	数学的な技能	4	58.4	58.5	
	数量や図形などについての知識・理解	0			
問題形式	選択式	2	41.9	41.3	
	短答式	6	57.6	57.8	
	記述式	7	31.4	33.1	

## <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



## 設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率（%）		無解答率（%）		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	北海道（公立）	全国（公立）	北海道（公立）	全国（公立）	
1（1）	1試合の時間を16分とすると、1回の休憩の時間を求める	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することができる	1(3)ウ												79.4	79.3	1.3	1.2
1（2）	葉月さんの提案を取り入れたとき、1試合の時間を求めるための方程式をつくる	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することができる	1(3)ウ												32.3	33.4	22.2	19.3
1（3）	1試合の時間を10分とすることができるかについて正しい記述を選び、その理由を式を基に説明する	適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することができる	1(3)ウ												48.2	51.4	3.7	2.3
2（1）	一次関数の表からx=4のときのyの値を求める	条件を基に、表から数量の変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めることができる			2(1)イ										64.0	59.1	9.0	8.7
2（2）	x=4のときy=9になるように、xとyの間の関係を書き加えることについて、正しい記述を選び、その理由を説明する	加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することができる			1(1)エ										19.1	20.6	10.7	8.2
3（1）	A車を購入して10年間使用するときの総費用を求める	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる			2(1)イ、エ										65.3	67.4	3.7	3.4
3（2）	B車の使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、グラフの傾きが表すものを選ぶ	グラフの傾きを事象に即して解釈することができる			2(1)イ、エ										31.6	29.8	0.6	0.7
3（3）	A車とB車について、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			2(1)イ、エ										27.4	30.3	15.9	12.1
4（1）	2つの辺の長さが等しい事を、三角形の合同を利用して証明する	筋道を立てて考え、証明することができる			2(2)イ、ウ										29.4	29.4	25.7	22.3
4（2）	DA:DC=1:2のときの△DECがどのような三角形になるかを説明する	付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる			2(2)ウ										34.5	37.3	34.9	30.5
5（1）	24.5cmの靴を最も多く買うという考えが適切ではない理由を、グラフの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			1(1)イ										46.5	47.6	22.3	19.3
5（2）	25.5cmの靴が貸し出された回数の相対度数を求める式を書く	与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することができる			1(1)イ										29.2	31.1	36.2	33.5
6（1）	最初に決めた数が5のとき、手順通りに求めた数を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	小4(4)												75.1	76.4	13.7	12.8
6（2）	文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てる方法を説明する	与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができる			2(1)イ、ウ										14.8	15.4	44.7	41.5
6（3）	当てる方法を変えるとき、新しい数当てゲームの手順について当てはまる言葉を選ぶ	計算の過程を振り返って考え、数当てゲームの新しい手順を完成させることができる			2(1)ウ										52.2	52.9	4.0	4.5

\* 評価の観点は、数量や図形についての技能（小学校）に対応させている。

※塗りつぶしは、全国以上の平均正答率及び全国以下の無解答率。太枠は5%以上の無解答率。

	H26	H27	H28
平均正答率が全国以上の設問数	7/15問	3/15問	4/15問
無解答率が全国以下の設問数	4/15問	3/15問	2/15問
無解答率が5%以上の設問数	12/15問	11/15問	10/15問

## ■ 過去の同一問題との比較

- 過去の全国学力・学習状況調査との同一問題（4問）について、全国平均以上の問題は2問。また、全国平均を下回った問題のうち、差が縮まった問題は1問、差が広がった問題は1問。

	全国平均以上の問題の数	全国平均を下回った問題のうち、差が縮まった問題の数	全国平均を下回った問題のうち、差が広がった問題の数
小学校調査	0	1	0
中学校調査	2	0	1

※ 過去の調査とは、平成19～22、24～27年度の全国学力・学習状況調査を指す。  
 なお、各調査の対象児童生徒や実施時期、問題の全体構成等が異なるため、単純な比較ができないことに留意する必要がある。

### （小学校国語）

問題		全道	全国	実施年度	全道	全国
		全道－全国			全道－全国	
A 1 二 3	漢字を書く（相談）	60.2%	64.2%	平成19年度	49.4%	58.0%
		-4.0			-8.6	

（小学校算数） 該当無し

### （中学校国語）

問題		全道	全国	実施年度	全道	全国
		全道－全国			全道－全国	
A 9 三 ウ	適切な語句を選択する （手塩にかけて育てる）	58.3%	59.3%	平成24年度	63.2%	60.6%
		-1.0			+2.6	

### （中学校数学）

問題		全道	全国	実施年度	全道	全国
		全道－全国			全道－全国	
A 6 (2)	多角形の外角の和について、正しい記述を選ぶ	70.6%	69.3%	平成21年度	65.5%	66.1%
		+1.3			-0.6	
A 13 (1)	1枚の硬貨を投げたときの確率について、正しい記述を選ぶ	66.8%	66.0%	平成24年度	66.8%	64.6%
		+0.8			+2.2	

## 4. 質問紙調査

### ■ 「2. 結果の概要」で示した項目

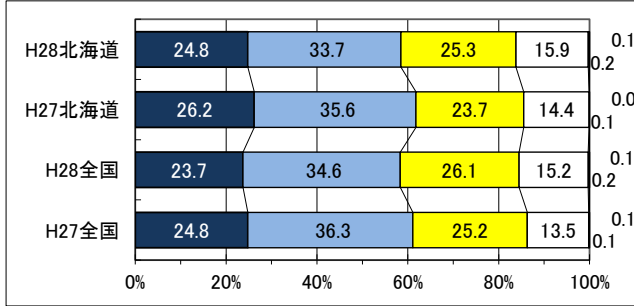
#### ○ 「国語の勉強は好きですか」

(児童生徒 質問番号 小61、中61)

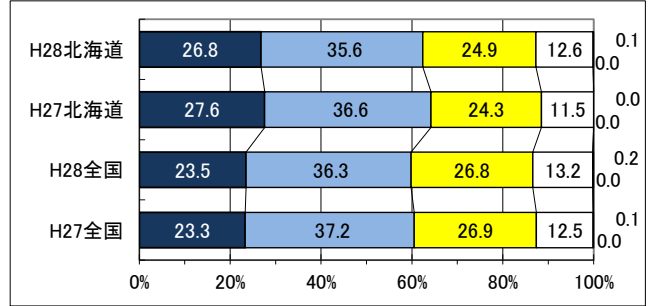
「1. 当てはまる」、「2. どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校で3.3ポイント、中学校で1.8ポイント低い。全国と比べて、小学校で0.2ポイント、中学校で2.6ポイント高い。

■ 1. 当てはまる ■ 2. どちらかといえば、当てはまる ■ 3. どちらかといえば、当てはまらない □ 4. 当てはまらない ■ その他 ■ 無回答

#### 〈小学校〉



#### 〈中学校〉



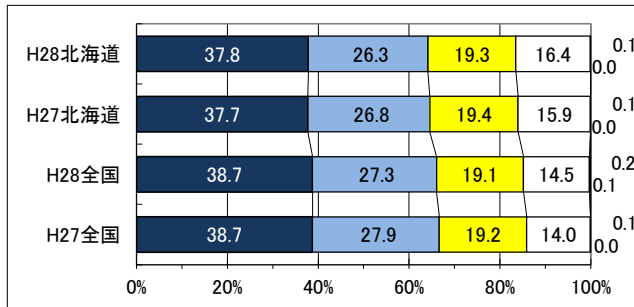
#### ○ 「算数・数学の勉強は好きですか」

(児童生徒 質問番号 小71、中71)

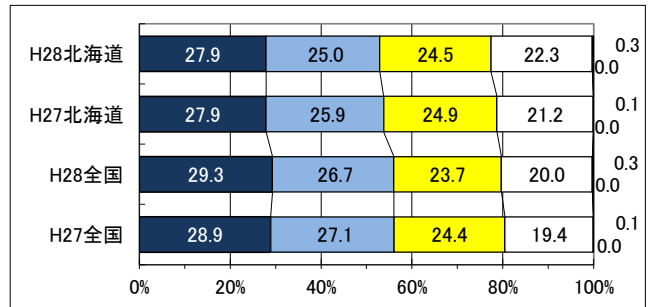
「1. 当てはまる」、「2. どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校で0.4ポイント、中学校で0.9ポイント低い。全国と比べて、小学校で1.9ポイント、中学校で3.1ポイント低い。

■ 1. 当てはまる ■ 2. どちらかといえば、当てはまる ■ 3. どちらかといえば、当てはまらない □ 4. 当てはまらない ■ その他 ■ 無回答

#### 〈小学校〉



#### 〈中学校〉



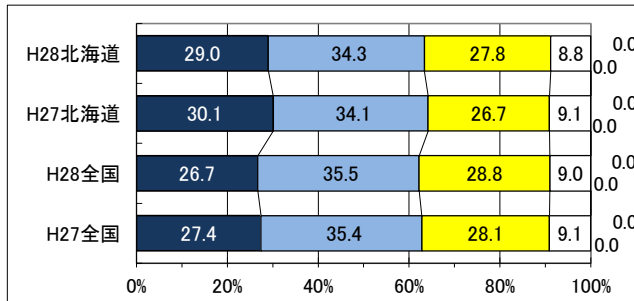
#### ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」

(児童生徒 質問番号 小21、中21)

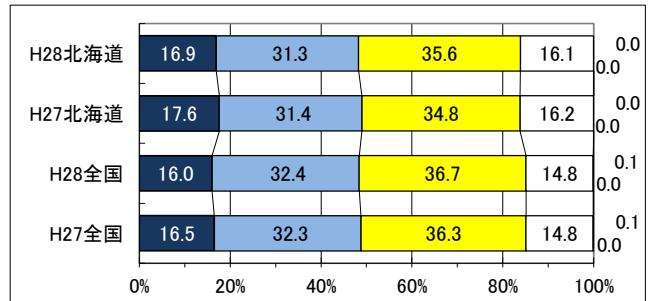
「1. している」、「2. どちらかといえば、している」と回答している児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校で0.9ポイント、中学校で0.8ポイント低い。全国と比べて、小学校で1.1ポイント高く、中学校で0.2ポイント低い。

■ 1. している ■ 2. どちらかといえば、している ■ 3. あまりしていない □ 4. 全くしていない ■ その他 ■ 無回答

#### 〈小学校〉



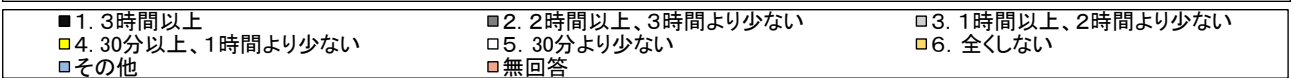
#### 〈中学校〉



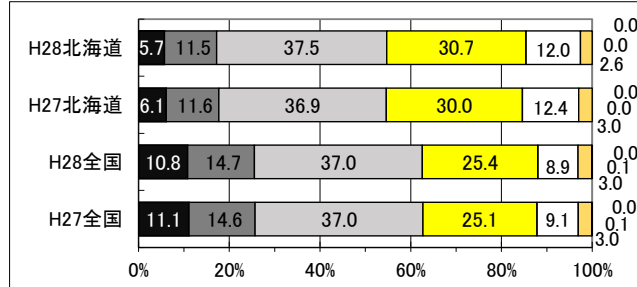
- 「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)」

(児童生徒 質問番号 小14、中14)

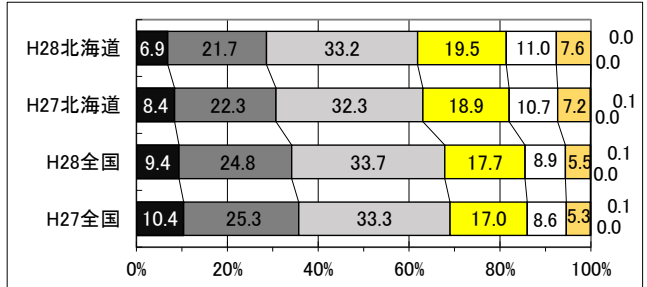
1日当たり1時間以上勉強すると回答している児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校で0.1ポイント高く、中学校で1.2ポイント低い。全国と比べて、小学校で7.8ポイント、中学校で6.1ポイント低い。



〈小学校〉



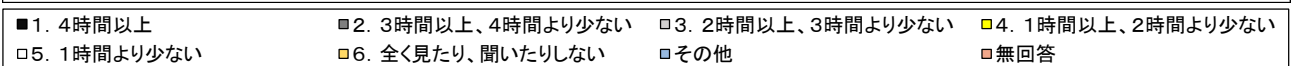
〈中学校〉



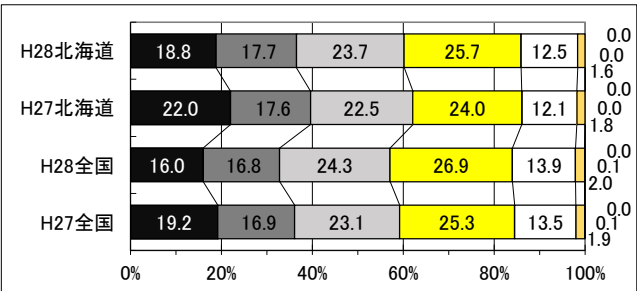
- 「普段(月～金曜日)、1日当たりどれぐらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く)」

(児童生徒 質問番号 小11、中11)

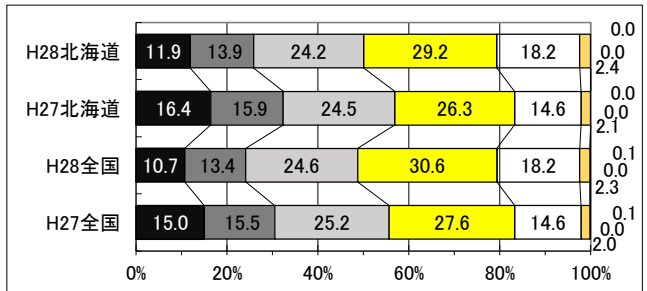
1日当たり3時間以上すると回答している児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校で3.1ポイント、中学校で6.5ポイント低い。全国と比べて、小学校で3.7ポイント、中学校で1.7ポイント高い。



〈小学校〉



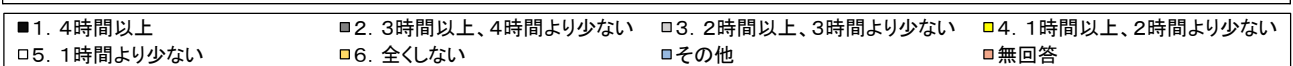
〈中学校〉



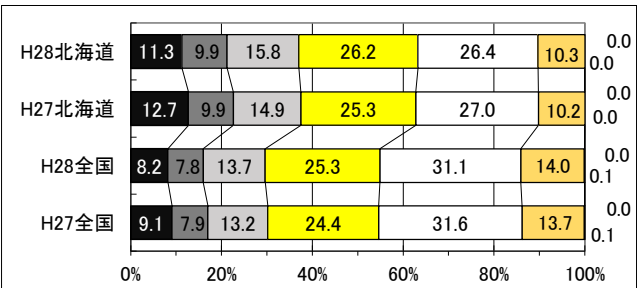
- 「普段(月～金曜日)、1日当たりどれぐらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか」

(児童生徒 質問番号 小12、中12)

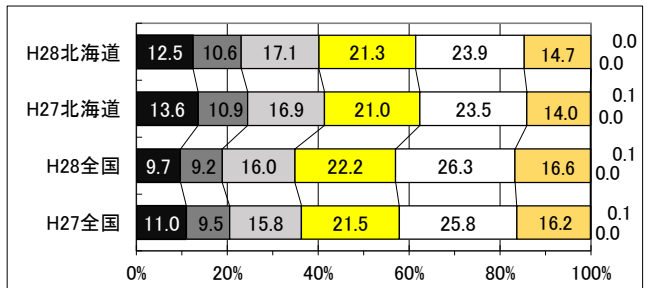
1日当たり3時間以上すると回答している児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校、中学校とも1.4ポイント低い。全国と比べて、小学校で5.2ポイント、中学校で4.2ポイント高い。



〈小学校〉



〈中学校〉



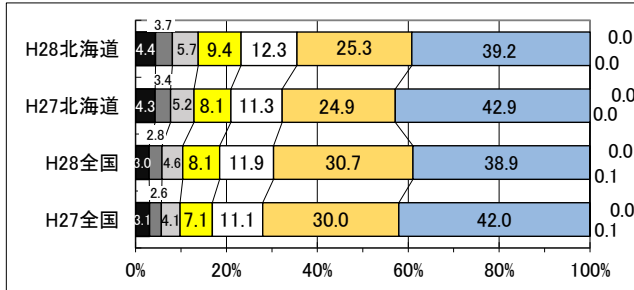
- 「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)」

(児童生徒 質問番号 小13、中13)

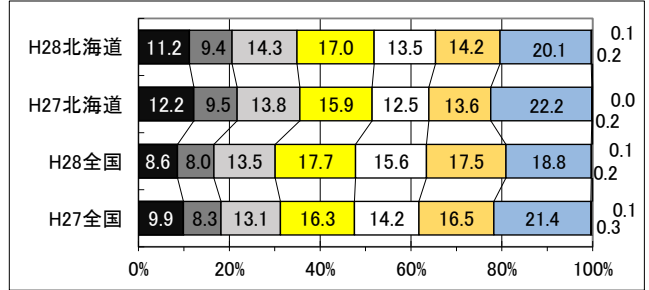
1日当たり3時間以上すると回答している児童生徒の割合は、昨年度と比べて、小学校で0.4ポイント高く、中学校で1.1ポイント低い。全国と比べて、小学校で2.3ポイント、中学校で4.0ポイント高い。

- 1. 4時間以上  
 ■2. 3時間以上、4時間より少ない  
 ■3. 2時間以上、3時間より少ない  
 ■4. 1時間以上、2時間より少ない  
 ■5. 30分以上、1時間より少ない  
 ■6. 30分より少ない  
 ■7. 携帯電話やスマートフォンを持っていない  
 ■その他

〈小学校〉



〈中学校〉



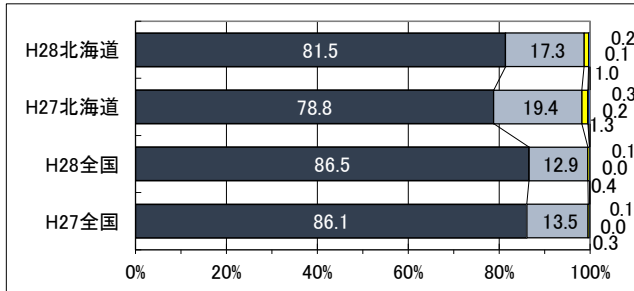
- 「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか」

(学校 質問番号 小92、中90)

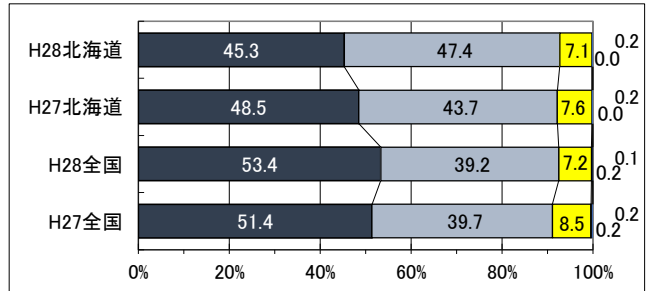
「1. よく行った」と回答している学校の割合は、昨年度と比べて、小学校で2.7ポイント高く、中学校で3.2ポイント低い。全国と比べて、小学校で5.0ポイント、中学校で8.1ポイント低い。

- 1. よく行った  
 ■2. どちらかといえば、行った  
 ■3. あまり行っていない  
 ■4. 全く行っていない  
 ■その他、無回答

〈小学校〉



〈中学校〉



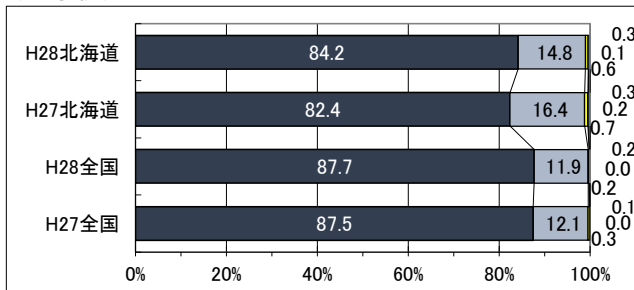
- 「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、算数・数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか」

(学校 質問番号 小94、中92)

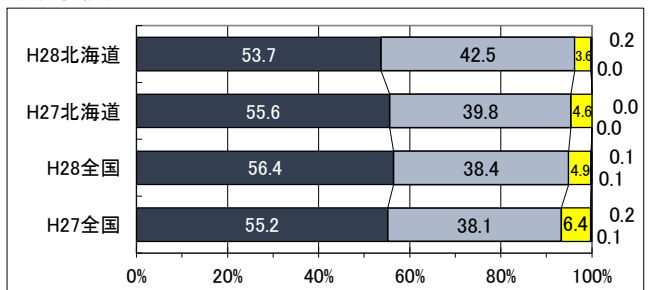
「1. よく行った」と回答している学校の割合は、昨年度と比べて、小学校で1.8ポイント高く、中学校で1.9ポイント低い。全国と比べて、小学校で3.5ポイント、中学校で2.7ポイント低い。

- 1. よく行った  
 ■2. どちらかといえば、行った  
 ■3. あまり行っていない  
 ■4. 全く行っていない  
 ■その他、無回答

〈小学校〉



〈中学校〉



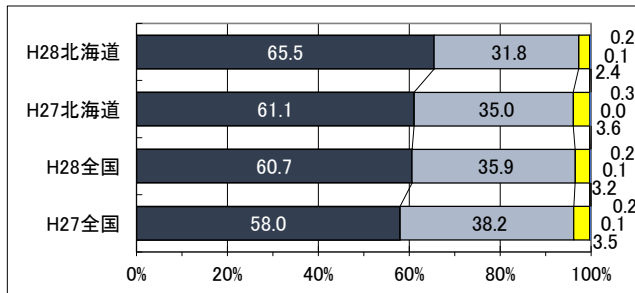
- 「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか」

(学校 質問番号 小51、中51)

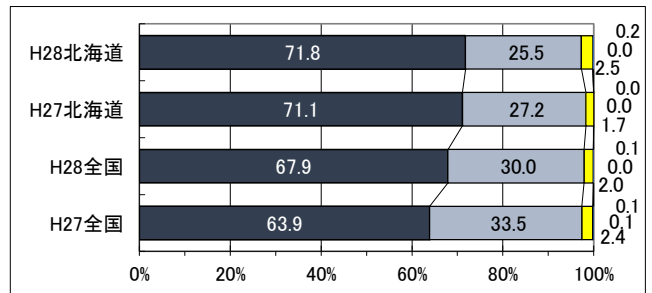
「1. よく行った」と回答している学校の割合は、昨年度と比べて、小学校で4.4ポイント、中学校で0.7ポイント高い。全国と比べて、小学校で4.8ポイント、中学校で3.9ポイント高い。

■ 1.よく行った    □ 2.どちらかといえば、行った    ■ 3.あまり行っていない    □ 4.全く行っていない    ■ その他、無回答

〈小学校〉



〈中学校〉



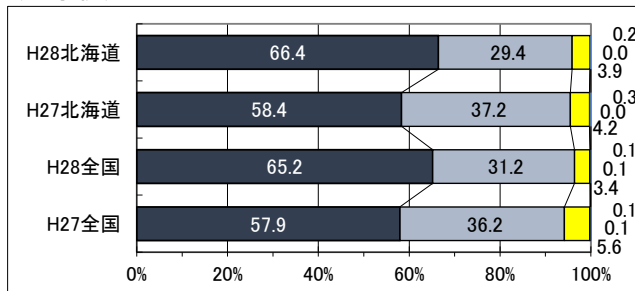
- 「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか」

(学校 質問番号 小41、中41)

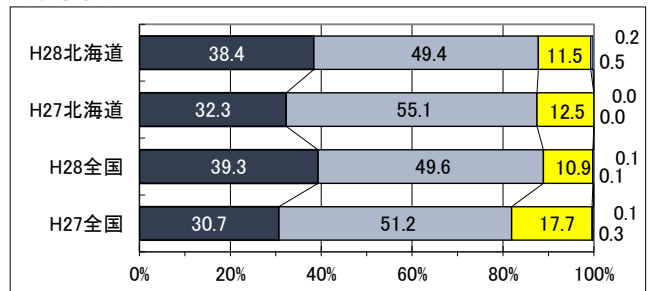
「1. よく行った」と回答している学校の割合は、昨年度と比べて、小学校で8.0ポイント、中学校で6.1ポイント高い。全国と比べて、小学校で1.2ポイント高く、中学校で0.9ポイント低い。

■ 1.よく行った    □ 2.どちらかといえば、行った    ■ 3.あまり行っていない    □ 4.全く行っていない    ■ その他、無回答

〈小学校〉



〈中学校〉



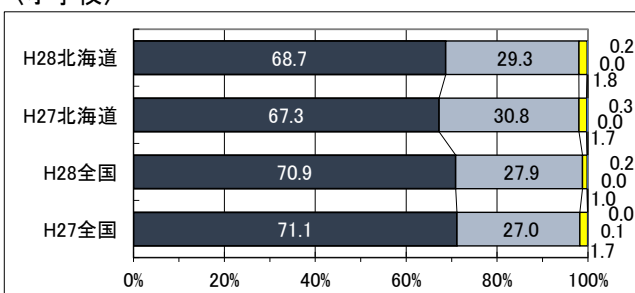
- 「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか」

(学校 質問番号 小36、中36)

「1. よく行った」と回答している学校の割合は、昨年度と比べて、小学校で1.4ポイント、中学校で6.5ポイント高い。全国と比べて、小学校で2.2ポイント、中学校で4.4ポイント低い。

■ 1.よく行った    □ 2.どちらかといえば、行った    ■ 3.あまり行っていない    □ 4.全く行っていない    ■ その他、無回答

〈小学校〉



〈中学校〉

